



2021年5月21日

各位

会社名 イワキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 岩城 慶太郎
(コード番号 8095 東証第1部)

問合せ先 常務執行役員業務本部長 渡邊 弘行
兼務 管理部門担当

(TEL.03-3279-0481)

ペプチド化粧品開発プロジェクト立ち上げに関するお知らせ

この度、イワキグループでは、すでに開示をいたしております中長期ビジョン「ASTENA2030 “Diversify for Tomorrow.”」の基本戦略の一つである「ソーシャルインパクト戦略」への取り組みの一環として「自分の肌に自信をつけ、全ての人の社会進出を後押ししクリーンとサイエンスが共存した化粧品（Clean Beauty^{※1} & Cosmeceuticals^{※2}）開発」のプロジェクトをスタートすることとなりましたので、お知らせいたします。

記

具体的には、人と環境にやさしい CMR^{※3} free のペプチド合成技術（MH 法^{※4}）を保有する JITSUBO 株式会社（以下、「JITSUBO」という）が当社グループ入りしたことを起点とし、「ペプチドの効果を活かした、いつでもハリ・ツヤのある肌でいられる化粧品」をコンセプトとした

- ・日本国内の技術・天然成分を取り入れた化粧品
- ・誰もが安心して使える肌にやさしい化粧品
- ・イノベーションによる環境にやさしく効果のある化粧品
- ・「4R^{※5}」に配慮した化粧品

の事業化に取り組んでまいります。

また、単なる製品開発に留まることなく、SDGs も強く意識・配慮したものとしており、まずは 2021 年 6 月 1 日にアステナホールディングス株式会社内に「新規事業推進室」を設置、インキュベーションを推進し、ジェンダーの平等、ディーセントワーク、環境保全等に対してチャレンジしてまいります。

なお、事業化にあたりましては、前述の JITSUBO だけでなく、グループシナジーを十二分に発揮したいと考えております。

- ・環境にやさしい有効成分の製造販売：スペラファーマ株式会社、スペラネクサス株式会社及

び JITSUBO

- ・有効成分を含んだ美容皮膚医療化粧品の製造・販売：岩城製薬株式会社
- ・有効成分の販売、一般化粧品の販売（企画・ダイレクトマーケティング含む）：イワキ株式会社、アプロス株式会社及びマルマン H&B 株式会社

- ※1 身体や環境に有害なものは含まない化粧品
- ※2 科学的根拠のある有効成分を含む化粧品
- ※3 CMR : Carcinogenicity, Mutagenicity, Reproduction toxicity
- ※4 Molecular Hiving™: JITSUBO 独自の疎水性タグを用いるペプチドの液相合成法
- ※5 Reduce・Reuse・Recycle・Refuse（もしくは Replace）

以上